

講座の特長

● 中学英語+αの文法内容を、極力文法用語を使わずに平易に解説

ビジネスにおける日常的な「読み、書き、聞き、話す」に必要な十分な、中学英語+αの文法内容を、例や Q&A 形式を交え平易に解説しています。

● ビジネスにすぐ役立つ

文法的には中学レベルですが、基本的なビジネス用語や、電話での基本表現、メールの書き方などが学習でき、ビジネスにすぐ役立つ内容となっています。

● 充実したトレーニング

英語の「知識」を、「読み、書き、聞き、話す能力」に変えるためのトレーニングを充実させています。特に、次の2つに重点を置いています。

→ 声に出して英文を読む (音読)

- 英語を話すための口の筋肉が鍛えられる (英語をスムーズに口に出せるようになる)
- 正しく発音できるようになった単語は、聞き取ることも容易になる (リスニング力が強化される)
- 繰り返して英文を声に出すことにより、英語の重要な構文や表現が頭の中にすり込まれ、「知識」が「使える能力」に変わる。また英語を直感的に理解できるようになる (「英語の回路」が構築される)

→ 手を使って英文を書く

- 実際に手で書くことにより、文法、単語のスペリング、句読点の使い方などが、より深く身に付く

◆ 「音読」と「手を使って英文を書く」ことの効果 ◆

脳の言語中枢には、言語の理解を担当するウェルニッケ中枢 (感覚性言語野) と、言語の表現 (表出) を担当するブローカ中枢 (運動性言語野) があります。聞いたり、読んだりした情報は、ウェルニッケ中枢で処理され、理解されます。一方、言葉を発しようとする場合には、ブローカ中枢が、喉や唇、舌などの動きを調整します。「音読」(ここでは、パラレルリーディング、シャドーイング [コースガイド、学習方法参照] などを含めて音読と総称する) とは、「文字を見るまたは音声を聞く→ウェルニッケ中枢で理解→ブローカ中枢からの指示で音声を発する→自分の声をウェルニッケ中枢で確認」というサイクルを繰り返す行為です。音読により、2つの言語野間の連携を活発にすることで、脳に「言語の回路」が構築され、知識が定着する (身に付く、内在化する) と言われています。実際に多くの教育現場で、音読の訓練が取り入れられており、成果が報告されています。

本講座では、「音読」に加え、「手を使って英文を書く」ことも重視しています。実際に手で書くことにより、それまで見逃していた文法や句読点の使い方など、細かい点に気づくことができます。

また、「音読」や「手を使って英文を書く」ことには、知識を「運動記憶」に変えるという効果もあります。「運動記憶」とは、自転車に乗る、ワープロを打つ、といった体を動かすことに関する記憶で、一度記憶するとなかなか忘れません。英語学習で言えば、何十回も音読したフレーズがとっさの場合にすらすらと出てきたとか、つづりが思い出せない単語が、実際に書いてみると思い出せた、というのは「運動記憶」になっているからです。

目 (読む) や耳 (聞く) で理解するだけでなく、ぜひ、積極的に口 (話す) や手 (書く) を動かして、「使える英語」を身に付けてください。

学習の進め方

各テキストは、1st Week ~ 4th Week の4週間に分かれており、各週は Day 1 ~ Day 5 の5日間で構成されています。各テキストの最後には、1カ月の復習として、Monthly Review という提出課題があります。また、講座の最後には、総復習として Final Exam (別冊) という提出課題を用意しています。

学習スケジュール

1日の学習時間を約45分とし、週5日、4週間(1カ月)でテキスト1冊を学習するのが標準的なスケジュールです。ただし、Monthly Review と Final Exam については、このスケジュールに含まれていませんので、休日などを利用して取り組んでください。

テキスト1冊を終了したら、Monthly Review を提出してください。また、すべてのテキストを終了したら Final Exam を提出してください。Final Exam は、3カ月目の Monthly Review と同時に提出していただいてもかまいません。

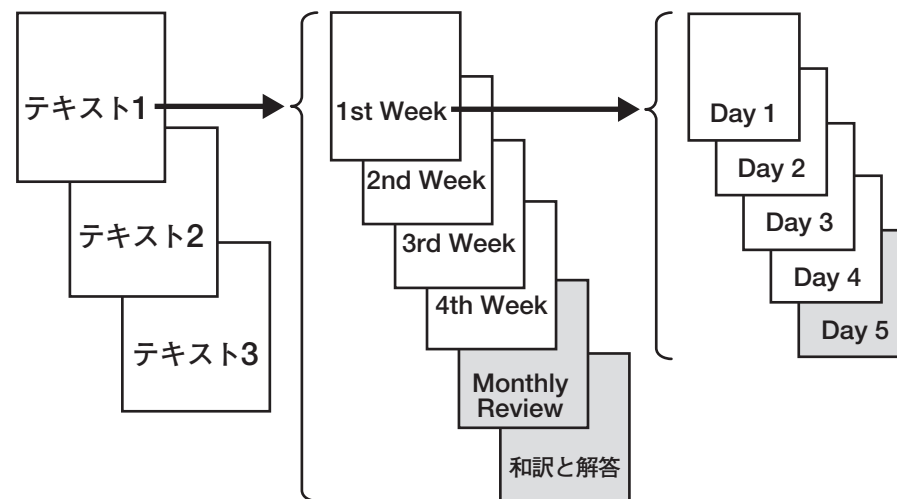
※本コースガイドの「Monthly Review と Final Exam について」(p. 22)をよく読んで、マークシートに解答を記入し、提出してください。

学習開始日	年	月	日
Textbook 1 Monthly Review 提出日	年	月	日
Textbook 2 Monthly Review 提出日	年	月	日
Textbook 3 Monthly Review 提出日	年	月	日
Final Exam 提出日	年	月	日
最終提出期限日	年	月	日

※最終提出期限日は、同封の「ご確認ください」に記載してあります。

テキストの構成と内容

この講座では、1カ月に1冊のペースで、3カ月にわたって学習します。学習しやすいように、各テキストを4週間に分け、さらに各週を5日に分けています。



■ Day 1~4 (各4ページ)

- 前半2ページ
英語の仕組みの解説
- 後半2ページ
Training
(トレーニング)

■ Day 5 (4ページ)

- Review (Day 1 ~ 4 の復習)

■ Monthly Review

- 毎月の提出課題

■ 和訳と解答

- 英文の和訳と Review の解答

英語の仕組みの解説 (各 Day 前半 2ページ)

1st Week
Day 1 私の名前は阿部次郎です。

今日のテーマ
今日は、ビジネスシーンでの基本となる自己紹介や、自分の周りの人物の紹介ができるようになります。

CD1-2
L1 ▶ P3

My name is Jiro Abe.
部長
I am a manager.
(私の名前は阿部次郎です。私は部長です。)

ねえ、日本語はいつも「です」を使うのに、英語では am, are, is の3つの語を使っているよ

This is Ms. Ogawa.
(当社の小川です。)
This is Mr. Hayashi.
(同じく林です。)
They are my colleagues.
(彼らは私の同僚です。)

ポイント
英語の「です」は3種類！
自己紹介や人を紹介するシーンでは、「私は～です」「当社の～です」という言い方をしますね。日本語では主語（「～は、～が」にあたる語）がだれであっても「です」を使いますが、英語では下の表のように、主語によって「です」の部分が変わります。
*This is ～は「こちらは～です」という意味ですが、和訳は日本のビジネス習慣に合わせた表現としています。
また、日本では同僚を他社の人に紹介する場合、「～さん」と敬称はつけません。

主語と「です」の関係

	I	he	she	it	1人(つ)の人やもの	you	we	they	2人(つ)以上の人やもの
主語	私は	彼は	彼女は	それは	あなた(たち)は	私たちは	私たちは	彼らは/彼女たちは/それらは	
「です」	am			is			are		

●今日のテーマ
イラストを用いて、その日の学習テーマを分かりやすく示しています。

●CDアイコン
「学習方法」のページで説明します。

●ポイント
その日の学習テーマのポイントとなる事柄を、文法用語をできるだけ用いないで、平易に説明しています。

Q & A

主語が I のときは am、それ以外で単数のときは is、複数のときは are を使えばいいのね。you は単数と複数が同じ形で、どちらの意味の場合でも are を使うってことね。

My name は単数だから is。僕が自己紹介するときは My name is Mitsuo Hayashi. あれ？自分の名前はこの順序で言えるのかな？

これまでは、英語圏の人々にならって「名+姓」だった最近では、英語を使っても自分たちの言語習慣まで変えるという意見もあり、My name is Hayashi Mitsuo. の、う人もいるんだよ。
*書くときは姓のほうを大文字にして HAYASHI Mitsuo とする書き方も定着しつつ
*本講座では、「名+姓」の語順で表記しています。

I am a manager. の“a”はどんなときに必要なんですか。
*参照▶ p. 48-49

この“a”は「1人の、1つの」という意味を表しているんだ。これが「私たちは部長代わりに We are...」の「a」にあたるから、a は必要だ。

会話に役立つ表現
haveを使ったさまざまな表現
このミニコラムでは会話で役立つ表現を紹介しします。今日は have を使った表現です。みなさんが最もよく知っている have の意味は「持っている」ですね。「持っている」という意味から広がって、こんなに多くのことが表現できます。

CD1-30
L1 ▶ P3

- ① He has a business lunch with Ms. Clark every Wednesday.
(彼は毎週水曜日にクラークさんとビジネスランチをします。)
- ② I often have a drink with my colleagues after work.
(私は仕事の後、よく同僚と一杯やります。)
- ③ We have a meeting every Monday morning.
(私たちは毎週月曜日の朝に、会議をします。)
- ④ Chris has a cold today.
(クリスは今日、風邪を引いています。)
- ⑤ We :
- ⑥ The :

会話に役立つ表現
会話に役立つ、さまざまな表現を取り上げています。
*各Dayには、「これも大切！」と「会話に役立つ表現！」のどちらか1つが掲載されています。

●Q&A
学習される方が疑問をもちそうな事柄を取り上げ、Q&A形式で説明しています。

●これも大切！
「ポイント」や「Q&A」で説明しきれなかった、補足的な英語の仕組みについて取り上げています。

●これも大切！